

2004年度人文学研究所：映画上映と講演「現代アジアと家族」報告

人文学研究所主催（人文学会共催）で「現代アジアと家族」と題して、11月18・19日に映画上映と講演会を開催した。

講演会は社会評論家の芹沢俊介氏を迎え、聴衆は180名前後であった。演題は「現代日本と家族—子どもたちの生き難さをめぐって—」であり、芹沢氏は現代日本の家族が遭遇している問題に、〈自分〉意識と個人の孤立化という視点からアプローチされた。講演の後、時間の制限がありながらも活発な質疑応答があり、また著書の販売とサイン会も行われた。

映画上映と講演会の日程とプログラムは下記の通りである。（文責 伊坂青司）

■講演会

日 時：11月18日（木）13:00～14:30

テ ー マ：「現代日本と家族 —子どもたちの生き難さをめぐって—」

講 師：芹沢 俊介 氏（せりざわ・しゅんすけ）

講師略歴：1942年、東京生まれ

社会評論。主に子ども問題、家族問題で発言を続ける。著作に「家族という暴力」「母という暴力」「子どもたちはなぜ暴力に走るのか」その他がある。

■映画上映

11月17日（水）

「山の郵便配達」1999年（中国）10:30～（93分）

監 督：フォ・ジェンチイ

キャスト：トン・ルウジュン、リイウ・イエ、ジャオ・シイウリ

解 説：1999年中国金鶏賞（中国アカデミー賞）最優秀作品賞。父と息子、息子と母、妻と夫の関係をじっくりと描くことで、家族のあり方を問い掛ける。「絆」というテーマが悠久たる中国の大自然の中に叙情豊かに綴られる。

「夏 至」2000年（フランス・ベトナム）13:00～（112分）

監 督：トラン・アン・ユン

キャスト：トラン・ヌー・イエ・ケー、グエン・ニュークイン、レ・カイン

解 説：母の命日に仲のいい三姉妹が集まる。だが、彼女らはそれぞれに秘密を抱えている。やがて、母の秘密の恋を知った彼女らは、戸惑いの中で自分自身と向き合っていく。

「祝 祭」1996年（韓国）16:20～（102分）

監 督：イム・グォンテク

キャスト：アン・ゾンギ、オー・ジョンヘ、ハン・ウンジン

解 説：老母の葬式の喪主となった流行作家と、彼が体験する昔ながらの式次第で行われる葬儀の進行を見つめ、集まった人々の人間模様を描いたドラマ。

11月18日(木)

「A. I.」2001年(アメリカ) 14:40～(143分)

監督：スティーヴン・スピルバーグ

キャスト：ヘイリー・ジョエル・オズメント, ジュード・ロウ, フランシス・オーコナー

解説：愛をインプットされながら、母親に見捨てられた少年ロボットの心の旅を描く感動作。